

# 日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局  
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室  
TEL：0263-37-2622 FAX：0263-37-3499  
発行責任者：地方会長 野見山 哲生



## 巻 頭 言



### 『コロナ禍と産業保健の今後を思ふ』

山梨県産業保健担当理事

小林 正洋

(北陸甲信越地方会 山梨県常任理事)

産業保健的課題については、これまでどおり知見を積み重ね粛々と解決に導いてゆくものと新たに社会の変化に応じて出現してくる課題があり専門、非専門にかかわらず産業保健にかかわる者は今後も立ち止まることなく対応していかねばならない職責があると考えています。歴史的にも産業保健の課題は常に時代に応じて変遷しています。最近では生活習慣病対策、メンタルヘルス対策や働き方改革や両立支援といったこれまではなかったの課題が取りざたされています。昨年来の新型コロナウイルス感染拡大は働く社会の変革を促し、コロナ対策といった一時の概念ではなく、今後の大きな産業保健的課題として私たちにかかわって来るのではないのでしょうか。先日の第 42 回産業保健活動推進全国会議では「コロナ禍における産業医活動」と題したシンポジウムがありました。すでに日本産業衛生学会は日本渡航医学会と共同で、昨年「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド（第 1 版）」を発行しておりますが、今回のシンポジウムでは職場における感染対策、ビジネス海外渡航と対策、労働者のメンタルヘルス、企業の BCP 等の興味深い発表がございました。産業保健の黎明は結核感染症対策だったと言われますが、労働者が流行する感染症の中で安全かつ健康的に就労継続できる産業保健体制の構築という課題は、現代のコロナ禍と当時の産業保健の比較において共通していると思われれます。今後感染拡大が長期化するに従い、少子化や人口減に拍車がかかり就業人口構造の変化が加速する可能性が考えられます。また現在進められている出生コホート研究（いわゆるエコチル調査）がございましたが、例えばソーシャルディスタンスという概念が子供たちの身体的精神的成長にとってどのように影響を与えるのかなど、コロナ禍が潜在的な将来の産業保健的課題を生み出す可能性のあることも私たちは忘れてならないと思います。一刻も早くこのコロナ禍が収束することを願ってやみません。

## 第 94 回日本産業衛生学会について

第 94 回日本産業衛生学会は、昨今の新型コロナウイルス感染症などの影響を鑑み、当初の予定より現地会場数を減少したプログラムの再編を行い、開催する方針で準備を進めております。各日時予定、現地開催場所は以下の通りとなります。

日時：会場およびライブ配信

2021 年 5 月 18 日（火）～5 月 21 日（金）

オンデマンド開催

2021 年 5 月 24 日（月）～6 月 25 日（金）

場所：まつもと市民芸術館、梅風閣

（講演会場 5 か所）

※主ホール以外は、比較的小さな会場となります。満席等の場合は新型コロナウイルス感染症対策のため、主ホール開催のプログラムを優先して聴講して頂くことをご了承下さい。

企画運営委員長：野見山哲生

（信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 教授）

（日本産業衛生学会北陸甲信越 地方会長）

現地開催プログラム：

プログラム編成上の都合上、【一般口演：現地】の発表形式は、【ライブ配信（オンライン）】に変更となり、一般口演は全てライブ配信発表となりました。

詳細情報につきましては、第 94 回日本産業衛生学会の公式 HP で随時更新を行っております。下記 URL より、ご確認をお願い申し上げます。

<https://convention.jtbcom.co.jp/sanei94/>

新型コロナウイルスの影響により、時勢が読めない中ではありますが、地方会員の皆様にも可能であれば、ぜひ学会参加をお願い申し上げます。

HP から Twitter、Facebook のアカウントにもアクセスできます。最新の情報が発信されますので、ぜひフォローをお願い致します。

## 第 63 回北陸甲信越地方会（富山）開催報告

富山大学学術研究部医学系公衆衛生学

事務局長 稲寺秀邦



第 63 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会は、馬瀬大助富山県医師会会長を学会長に、2020 年 10 月 25 日（日）「富山県総合福祉会館サンシップとやま」にて開催されました。

北陸甲信越地方会総会は毎年 10 月に開催しています。2019 年 10 月開催予定の第 62 回地方会総会は、台風 19 号のため 2020 年 3 月に延期となりましたが、新型コロナウイルス感染症のため誌上開催を余儀なくされました。第 63 回地方会総会についても現地（富山）での開催について慎重に検討を重ねた結果、北陸甲信越 6 県はその当時、感染が比較的落ち着いていたこと等を鑑み、現地にて開催することを決定しました。

午前中は一般演題 6 題の発表がありました。総会後のシンポジウムは「あらためて働き方改革を考える-健康課題の解決にむけて-」と題して、服部真先生（日本産業衛生学会北陸甲信越地方会産業医部会幹事）、藤澤貞志先生（富山県産業医会会長）の進行のもと 4 名のシンポジストに発表いただきました。富山労働局の小永光邦彦監督課長からは、「労働時間やメンタルヘルス対策などの労働環境の状況と労働局の取組」について、行政の立場からお話いただきました。小野島尚子保健師（関西電力株式会社）からは、「メンタルヘルスと働き方改革-働き方改革時代のストレスマネジメントにおける産業看護職の役割-」と題し、職場の取組を紹介いただきました。南昌秀コマツ本社健康増進センター副所長からは「製造業における働き方改革-コマツおよび栗津工場の取組と現状」について、大平泰子准教授（富山国際大学）からは「教員のメンタルヘルスと職場

風土」について、これまでの取組や今後の課題についてご講演いただきました。

今回の地方会ではコロナ対策として、1.会場の収容人数は 50%以下で設定する。2.当日、体調不良者は参加しないよう通知する。3 入口・受付にて手指衛生剤を配置する、等 10 項目の遵守事項を作成し、運営を行いました。

コロナ禍の中、働き方改革の流れが進む一方、産業保健についての新たな課題の出現も懸念されます。今後もタイムリーな企画を盛り込み、北陸甲信越地方会の発展に努力を続ける所存です。

## 地方会事業から



### ◇新潟県の産業衛生技術部会活動

一般財団法人上越環境科学センター

田村 三樹夫

新潟県の産業衛生技術部会の  
会員は極めて少ないことから、  
会活動としては、随分前から毎

年 10 月頃に一般社団法人新潟県労働衛生医学協会が主催する衛生管理者研修会を協賛するという形をとってまいりました。しかし、それも昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、令和 3 年度以降は当部会の協賛辞退の申し入れを受けました。

そこで、当地方会常任理事の中平先生にご相談を申し上げ、令和 3 年度からは新潟県産業保健研究会の研修会（6 月、12 月開催）を当地方会産業医部会等と共に産業衛生技術部会も共催させていただく予定であります。

なお、新潟県産業保健研究会の目的は、新潟県の産業保健の一層の発展と充実を図ることで、会員は産業医、産業歯科医、看護師・保健師、作業環境測定士、事業者、総務・人事担当者、衛生管理者、産業カウンセラー、労働安全衛生コンサルタント等、産業保健に携わる者及びそれを志す者とし、事務局を新潟県産業保健総合支援センターに置いています。

また、当研究会の会長は地方会理事の興梠建郎先生、会計兼企画運営委員は中平浩人先生ですので、この活動を通じて日本産業衛生学会並びに北陸甲信越地方会の会員数を増やしていければと思います。

## 会員の取組み



### 「第五回アジアじん肺レントゲン写真読影医養成 (AIR Pneumo) 更新オンラインワークショップ」出講報告

福井大学医学部環境保健学教室  
金山 ひとみ

昨年から続くコロナ禍で、2014 年から携わっているフィールドでの介入研究が一時足踏み状態になっています。そのような中、2020 年 11 月 6 日～7 日の 2 日間、第五回アジアじん肺レントゲン写真読影医養成 (AIR Pneumo) 更新オンラインワークショップが高知大学で開催され、講師の一人として出講いたしました。全国から 4 名の先生が参加、トラブルもなく無事終了し、全員が高得点で資格更新されました。

2011 年の第一回ワークショップ(順天堂大学)から、福井大学に会場を移して以降の 2018 年に至るまで、AIR Pneumo 日本企画運営委員会の事務局は福井大学医学部環境保健学教室に置かれました。日下幸則教授の御退官により、高知大学医学部環境医学教室内に事務局が移っています。私は 2016 年から講師の一人としてお手伝いさせていただき、現在に至るまでワークショップの講師を担当しております。

2020 年 11 月は、初のオンライン形式となりました。高知大学の菅沼成文教授はじめ高知の教室スタッフの皆様と一緒に、講義と X 線写真を用いたセルフプラクティスから更新試験に至るまで、全てオンラインで実施しました。ILO 標準写真、セルフプラクティス及び試験用の X 線写真とシャーカステン (必要な受講者のみ) 及び、所見記載用のリーディングシートは事前に受講者に宅配便で送り、当日は双方向で ZOOM に接続しながら進めました。更新試験中の 3 時間、講師と受験者全員が ZOOM で繋がり、受験者の PC 内蔵カメラに映る読影風景をスタッフが常時監視しました。オンライン形式の利点は、移動や宿泊がなく、忙しい臨床の先生も受講しやすかったことです。今回は、スタッフ側にとっても大変良い経験ができたと思います。国内のみならず国際的なワークショップも 6 ヶ国で通算 15 回開催され、英語版 HP (<http://airp.umin.jp/outline.html>) も近日中に更新予定です。今後、多くの先生のご参加をお待ちしております。

私たちの職場

『一般財団法人北陸予防医学協会』

田添 貴子

当協会は、昭和 24 年に結核予防の時期に呼応して X 線集団検診のための委託撮影所として発足しました。以来、「誠心誠意」を経営理念とし、地域保健・職域保健の健診を中心に予防医学に取り組む総合健診機関です。富山県内に健康管理センター、高岡総合健診センター、とやま健診プラザの 3 拠点を整え、一般健康診断、特定健診、がん検診、人間ドック、保健指導、健康づくり、メンタルヘルス等、幅広く質の高いサービスを提供しています。平成 30 年に新設されたとやま健診プラザには循環器内科クリニックを併設し、早期治療と事後フォローの充実に力を入れています。さらに、富山市角川介護予防センターを管理・運営しており、社員一丸となって、生涯健康・健康寿命の延伸を目指しています。

私は、保健師として健康管理センターの健康推進課に勤務しています。健康推進課の職員は 14 名で保健師、管理栄養士等が所属しています。若い世代の職員が多いので元気で明るい職場です。私の主な業務は事業所従業員の方の保健指導及び健康づくりであり、受診者の心に寄り添う対応を心がけて仕事をしています。おかげさまで、長期にご利用して下さる事業所が多くなり、従業員との継続的な関りができるようになりました。このことにより、従業員個々の検査データに加えて、勤務状況や労働環境を加味した個別指導の提供が可能になりました。その従業員ひとりの問題に留まらず、そこから見えてきた問題点を事業場全体としての視点で解決することにも繋がり、産業看護職としてのやりがいを感じています。また、年間 17 万人を超える健康診断受診者の結果データを分析し、事業所や健康保険組合の保健活動に役立つ報告書作成にも力を入れています。大規模データに基づく健康情報のフィードバックは総合健診機関の社会的役割の一つと考えています。データ解析の結果は学会や研修会等でも報告し、専門職としての自信に繋がっています。自己研鑽の機会が多いことも私の職場の魅力です。

今後も、職域・地域の垣根を超えた産業保健・産業看護活動を実践し、富山県内外の皆様の生涯を通じた健康づくりに貢献できるよう、誠心誠意努力していきたいと考えています。



リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます！

産衛学会や指導士会と一緒に活動しています。指導士会ではお互い支部長を務めています。

株式会社小松製作所 畑中修敏先生のご紹介でスタート♪



平井 一芳

所属：公立大学法人 福井県立大  
看護福祉学部看護学科  
職種／役職：教員／教授  
趣味：アンティーク収集・観賞、愛車(クラシックカー)でのドライブ  
ひとこと：研究では、生活習慣(身体活動、栄養、睡眠など)と健康との関係について取り組んでおります。また、講義では、保健師を目指す学生の産業保健への関心の喚起に繋がたいと思っております。

第 83 回産衛学会や大学院生の非常勤講師として、大変お世話になった先生です



中平 浩人

所属：新潟青陵大学  
職種：大学教員、医師、労働衛生コンサルタント  
好きな言葉：『和顔愛語 先意承問』  
ひとこと：同志達とコロナ禍の先にあるはずの産業保健活動・研修のニュー・ノーマルを模索して行きたいと考えています。

労働者の安全と健康を守ってくれている頼りになる同志です



渡辺 京子

所属：JFE 精密株式会社  
職種：看護師、第一種衛生管理者、産業カウンセラー  
好きな言葉：我、事において後悔せず  
ひとこと：従業員の皆様に、基本を知って気付いて貰おうと、様々なテーマの健康教育を実践中。自分の学びにもなっています。

次号へ

会員 Relay ☆≡

## 特集：日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会第 54 回全国集会報告



中小企業安全衛生研究会担当世話人

田畑 正司

昨年末の 12 月 12 日（土）に日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会第 54 回全国集会を金沢で開催しました。コロナ禍の中で現地開催するかどうか悩みましたが、石川産業保健総合支援センターの共催でオンラインでの参加もできることになり、ハイブリッド形式で開催いたしました。参加者は会場での参加が 25 名、オンラインでの参加が 15 名と少なかつたものの皆様のご協力で研究会を開くことができました。

午前中は一般演題の発表で開催案内が遅かったため 3 題と少なかつたものの中小企業の新型コロナウイルス感染症対策の困難点といったタイムリーな発表もありました。午後からは 4 名の方に特別報告をいただきました。前半は中小企業安全衛生研究会の世話人の 1 人である今井鉄平先生から当研究会で中小企業における新型コロナウイルス対策事例集の作成を目的に調査を行っている中でのご報告と富山で独立系産業医として活躍されている小杉由起先生からコロナ禍での嘱託産業医活動の実際をご報告いただきました。大変参考になる貴重なお話をお二人からうかがうことができました。後半は多様な人材活用に向けた取り組みの 1 つとしてパワースーツを利用した運搬作業での負担軽減を行っている石川県の企業と高齢職員が働きやすい職場づくりで介護サービスを提供している福井県の企業の方から、人材確保が難しい中小企業での工夫についてご報告いただき、有意義な研究会となりました。

### 新入会員紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用  
支援機構 山梨支部 山梨障害者職業センター  
柳 恵太



この度日本産業衛生学会並びに北陸甲信越地方会に入会させていただきました柳恵太と申します。2019 年川上憲先生が主催する「東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 職場のメンタルヘルス専門家養成プログラム(TOMH)」の受講をきっかけに入会させていただきました。

私は現在、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 山梨支部 山梨障害者職業センターにて、障害

者職業カウンセラーとして勤務しております。当センターではうつ病等のこころの病で休職されている方の復職に向けた相談や調整、各種プログラム（リワーク支援）も取扱っております。リワーク支援等による職場復帰前のリハビリは、会社復帰後の安定勤務に有効であると言われております。当センターは公的な職業リハビリテーション機関ですので、相談や支援は無料でご利用可能です。来所及び出張による個別相談や、適時説明会なども実施しておりますので、お気軽にご連絡ください。

今回の入会を機に、会員の先生方からご指導・ご鞭撻をいただきながら、山梨県や北陸甲信越地方における産業精神保健の推進に微力ながら貢献していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

**特集：ダイバーシティ推進委員会の紹介と活動**

北陸甲信越地方会選出委員

藤澤美和子

2018 年 9 月に非常設として発足したダイバーシティ推進委員会について紹介させていただきます。

日本産業衛生学会では、女性や若手会員の学会活動への参加に対するモチベーション向上を促すこと、キャリアを途絶えさせないシステムの構築、若手世代が参加しやすい学会運営、各部門におけるリーダーとなる会員を性差なく押し上げるということといったポジティブアクションについて取り組むことが重要と考えています。当委員会は、学会員のダイバーシティ（多様性）を考え、それぞれのニーズを考慮し、より参加しやすい学会活動を行い、学会の活性化を図ることを目的とし、委員 19 名と担当理事 2 名の 21 名で構成される委員会です。まずは学会員向けの活動から始めていますが、当委員会が発展していくことで、産業衛生分野における「ダイバーシティ」について考える機会になればと考えております。

2020 年度の活動として、第 30 回全国協議会の会期中に、初のオンラインシンポジウム「会員のダイバーシティを考慮した 2020 年代の学会活動を考える」を開催しました。女性医師活躍における他学会の取り組みとして、日本糖尿病学会より池田香織先生（京都大学）にご講演いただきました。また、全会員に向け「子育て中の学術集会ヒント集」を作成しました。このヒント集は、学会に子どもを連れていく場合、子どもを置いていく場合に合わせ、事前準備から学会後の楽しみ方等まで学会員の経験が生かされた具体的なヒントが満載です。子育て世代が安心して学会活動に参加できることはもちろん、経験した世代やこれから経験する世代の会員にも理解を求め、お互いに支えあうことで学会に参加する敷居を下げることを目的としています。本部 HP の会員ページから見るすることができます。ぜひともご一読ください。

2020 年は新型コロナウイルス感染症対策により、オンライン化が急速に進み、学会の開催方法も多様化してきました。第 94 回学会では更にまた新たな方法が加わり、学会参加方法も多様化する学会となることと思います。開催期間中、ダイバーシティ推進委員会では、フォーラムの中でシンポジウムを開催いたします。ぜひ会員の皆様はご参加ください。

**参考：ダイバーシティ推進委員会 2021 フォーラム 5 月 21 日（金） 9：30～11：30**

**テーマ 若手会員が考える学会活動の意義と期待 - 「学会へ」行こう！等身大の経験談から -**

<座長>

西 賢一郎（ダイバーシティ推進委員会 委員長）

野原 理子（同 副委員長）

<演者>

産業衛生の実践の場からみる学会活動との関わり

道井 聡史（本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所健康管理センター）

私にとっての学会参加：これまでの経験を振り返って学会活動の意義と期待を考える

吉川 悦子（日本赤十字看護大学 地域看護学）

自分が成長できる場所

後藤 理絵（公益財団法人ライオン歯科衛生研究所）

子育て期の学会参加の課題 - 関東産業衛生技術部会の調査結果から -

大久保 茂子（昭和大学 医学部 衛生学公衆衛生学講座）

## 事務局から

### 日本産業衛生学会役員・地方会長 選挙結果

選挙の結果、地方会長・本部理事・代議員は以下の通りとなりました。

<地方会長>

野見山哲生

<本部理事>

石崎昌夫、野見山哲生

<代議員>

新潟：小坂智恵子、鈴木美和、中平浩人、三間聡

山梨：大高雅彦、小田切陽一、金子誉、小林正洋、

高橋英尚、角田ひろみ、丸山猛士、宮村季浩、

依田芳起

長野：飯塚康彦、井手陽子、吉川恵造、塚原照臣、

野見山哲生、藤澤美和子、松澤幸範

富山：稲寺秀邦、小野島尚子

石川：石崎昌夫、亀田真紀、城戸照彦、田畑正司、服部真

森河裕子

福井：高山英之、松原六郎

#### 日本産業衛生学会の選挙の概要

本学会では、2年に1回、役員選挙を行っています。本年度、日本産業衛生学会の役員改選に伴い、理事、監事、地方会長、代議員が選出されます。

役員選挙の公示は、役員任期終了年度の7月1日までに、中央選挙管理委員会によって行われます。そして、選挙年7月末日までに会費を全納している会員のみが選挙人（選挙権及び被選挙権を有する）となり、選挙人名簿を確定します。

その上で、各地方会選挙管理委員会によって代議員選挙、地方会長選挙を実施し、10月末日までに結果を中央選挙管理委員会に報告します。代議員は11月1日から、2年間の任期となります。

次に、各地方会選挙管理委員会によって、11月1日から任期を務める代議員を選挙人とし、理事候補者選挙を実施し、その結果を選挙年度の12月25日までに報告します。

最後に、中央選挙管理委員会によって監事選挙の公示を行い、選挙を実施します。選挙人は代議員です。

地方会長、理事、監事は、選挙年度の翌年度に開催される総会で承認を受け、当日から2年後の総会までの任期となります。

### 会員訃報

北陸甲信越地方会所属の会員がご逝去されました。

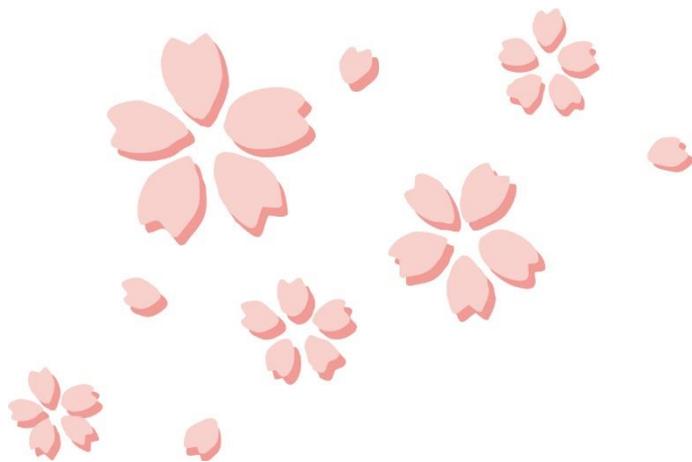
遠藤 登代志 先生（ファナック診療所）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 今後の行事案内

○2021年度北陸甲信越地方会 常任理事会  
日時：2021年6月19日（土）13:00～15:00  
会場：未定

○第64回北陸甲信越地方会学会総会  
開催日：2021年10月30日（土）理事会  
31日（日）学会・総会  
学会長：堂前 洋一郎（新潟県医師会長）  
事務局長：中平 浩人（新潟青陵大学）  
会場：ホテルグローバルビュー新潟  
（新潟県新潟市）



### 編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第8号を発行することができました。今号でも、各県の会員の皆様に各記事の執筆を賜り、誠にありがとうございました。ご意見やご感想を今後のために編集委員まで頂ければ幸いです。また企画や掲載希望などありましたら、ぜひ編集委員までご連絡をお願い申し上げます。

#### 編集委員（五十音順）

編集委員長：森河裕子

副編集委員長：塚原照臣

編集委員：池田裕子、稲寺秀邦、遠藤和男、  
小坂智恵子、佐藤一博、高山英之、  
角田ひろみ、西澤依小、松永康弘

事務局：當房浩一、水木 将